

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名	志茂つくし保育園
活動日時	2025 年 7 月 30 日
クラス名	ひまわり組 (2 歳)、ちゅうりっぶ組 (1 歳)、もも組 (0 歳)
年間テーマ	音の探究活動

1. 活動テーマ

<テーマ>

音との出会い～身近なもので音探し～

<テーマ設定理由（子どもの姿）>

自由遊びの際、玩具を入れていた段ボールを保育者が叩くと子どもたちが興味を示し、一緒になって叩いて遊ぶ姿が見られたため。

2. 活動スケジュール

- ・全員で行う
- ・大小さまざまな大きさの段ボールと米袋を使い音探し
- ・「おもちゃのちゃちゃちゃ」の音楽に合わせて全員で合奏

3. 環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

- ・絵本「たいこどんどん」・段ボール・米袋・新聞紙・セロハンテープ
- ・ガムテープ

4. 探究活動の実践

<活動内容>絵本「たいこどんどん」の読みきかせし、大小の段ボールとお米の袋をランダムに配置する。段ボールを叩くと音がすること、米袋を叩くと音がすることを伝え、子ども主体で好きな音を探しにいく。新聞紙のバチを渡し、音を楽しむ。

最後はみんなで「おもちゃのちゃちゃちゃ」の音楽に合わせて合奏を行う。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの声・姿	写真
・段ボールとお米の袋に興味を持ち、興味のある場所へ行き、笑顔でリズムをとりながら段ボールを手で叩いたり、新聞紙のバチで段ボールや米袋を叩いたり、米袋を足で踏んでみたり、バチでおもいっきり段ボールを叩く姿があった。 ・バチは片手に持って叩く子が多く、2 つバチを渡しても片手で叩こうとする姿があった。 ・0 歳児は 1.2 歳児が叩いている姿をみて一緒に叩いてみたり、歩いて様子を見る姿があった。また、喃語で話す姿もあった。 ・歌を口ずさみながら叩いたり、リズムに合わせて叩こうとしていた。	

5. 振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

叩く方法を変えてみたり、米袋を足で踏んで音を確認する姿、段ボールの上の米袋を重ねて叩いてみたりと自分で考えて遊びを発展する姿があった。合奏では子どもたちからもう一回やりたい！とリクエストがあり楽しく活動が行えたことを実感できた。後半では段ボールを積み上げていく姿があったが、一人の行動が次第に友だちも興味を持ち始め、最終的には保育者と友だちと協力しながら段ボールを積み上げていく姿は興味深かった。積み上げた段ボールを倒して楽しむ子もいた。